

新幹線プレス

2015年9月11日 No.250

発行者 成田 隆 浩

編集者 教 宣 部

J R 東海 労新幹線地本

軍隊は国民を守ったことはあるの



安保法制で国民を守る！

戦前の満州国では

最強といわれた関東軍は形勢が悪くなったら開拓民を置き去りにして撤退した。置き去りにされた日本人は24万人が死亡し、数万人の戦争孤児が生み出された

戦争末期の本土では

米軍が東京湾に上陸したら、戦車部隊を率いて米軍を迎え撃てといわれたので、街道は東京から落ち延びてくる人や荷車で溢れんばかりになっているだろうから、前進できないのではないかと質問したら参謀は「ひき殺して行け」と答えた。（作家司馬遼太郎の証言）

戦争末期の沖縄では

日本軍は戦闘のじゃまになると洞窟から住民を追い出した。
日本軍は戦闘のじゃまになると住民に集団自決を命じた
沖縄戦では住民94000人が犠牲になった

軍隊が守るのは「国民」じゃない。「国」だ！

自衛隊は災害救助では住民を救出したが、戦争になったら「自衛」するのは国民ではなく国家だ。国民は国を守るためのついでとされるのだ。